

若い漁業者育成確保促進事業

漁業者の知識と技術の向上を図り、組織的な学習や活動をとおして相互の緊密な連携と情報交換を行うことにより、漁村の人づくりと活性化を推進するため、国庫補助事業「若い漁業者育成確保促進事業」を実施した。ここでは、平成3年度の実施状況について報告する。

1. 漁村青少年協議会

この協議会は、漁村青壮年婦人グループの自主的な活動運営を助長するため、グループの代表者を主体に漁業士、市町村及び漁業団体の職員並びに学識経験者をもって構成し、任期は3年となっている。

漁村青少年協議会はグループの意向の集約を行うと共に計画や実施状況について協議した。平成3年度は各地区委員の3ヶ年間の任期満了に伴ない新委員が選任された。また、本島地区、宮古地区、八重山地区においてそれぞれ3回づつ協議会が開催された。

2. 学習会

この事業は、地域振興を計るため、地域における未開発の技術又は経営手法の導入にあたって後継者自らが地域の特定課題又は技術内容を充分理解し得るよう専門家を招き集団学習を行うものである。

今年度は、3地区（那覇—1月19日、平良市—1月20日、石垣市—1月21日）において阿部静雄氏を講師に招聘し、「これからの地域活動について」の演題で講演を行った。

当日は漁協青年部、研究グループ、漁協役職員、市町村水産担当職員等が参加し、活発な討議が行われた。

3. 技術交流会

この事業は、後継者の漁業及び漁家生活に関する考え方、技術等について地域相互間の交流を行い、技術・知識の向上を図るため、グループ代表者を県内又は県外に派遣し、先進技術等の交流活動を行うものである。

今年度は、「深海タチウオ釣り漁業について」具志川市及び沖縄市漁協青壮年部から熊本県へ「アサヒガニ漁業について」池間漁協青壮年部から糸満漁協へ、「モズク養殖と品質管理」について八重山漁協青壮年部から伊平屋漁協へそれぞれ技術交流を行った。

4. 漁村青壮年婦人活動実績発表大会

この事業は、漁村青壮年及び婦人、研究グループが自主的な活動実績を発表し、相互の知識と技術の交流を図り、活動意欲を高めるとともに地域の生産技術の向上、経営の改善に寄与するこ

とを目的に開催した。) の中で、今年度秋開催される「第3回水産大会」

今年度は、平成5年1月19日に那覇市内の水産会館において久米島・宮古・本島(港川)から下記の発表者及び発表課題により開催された。当日は、各漁協及び系統団体、市町村水産担当職等多数が参加し盛大であった。

なお、審査の結果「パヤオにおけるマグロ石巻釣り漁法」と題して発表した港川漁協青壮年部の上原清秀さんが最優秀賞(県知事賞)に輝いた。

※ 発表者と発表課題

発 表 者	発 表 課 題	所 属
田 端 幹 夫	地 域 営 漁 の 実 践	久米島漁協青壮年部
与那覇 利 助	イトモズクの養殖に取り組んで	平良市漁協狩俣漁業生産グループ
上 原 清 秀	パヤオにおけるマグロ石巻釣り漁法	港川漁協青壮年部

（以下は非常に小さい文字で印刷された文章がほとんど読み取れない。一部は「...」や「...」で断片化している。）

（以下は非常に小さい文字で印刷された文章がほとんど読み取れない。一部は「...」や「...」で断片化している。）